包括的な学校改善の視点：教育課程・学習指導

小学校における専科指導を推進する学校モデル

中核校	芦別市立芦別小学校	指定校	芦別市立上芦別小学校 芦別市立芦別中学校

■　構築した学校モデルの具体

○　児童が主体的に学ぶ授業を構築する工夫

・児童が主体的に学ぶことができるよう、専科教員がワークシートを作成し、小学校２校の授業において共通して活用する。
・「芦別スタンダード」で重視している見通しと振り返りの内容をタブレット端末を活用しながら児童と共有する。
・小学校２校の児童の興味・関心に応じて、教材・教具及び実験方法等を工夫し、全ての児童に対し、より深い理解を促す。

【理科専科教員による授業】

○　１人１台端末の効果的な活用

・理科の各単元において、課題を解決するための実験及び実験結果をタブレット端末で整理するとともに、学級全体で共有し、考察に結び付ける。
・専科教員が、タブレット端末を用いて、分かりやすく説明することにより、児童が実験の目的などを理解し、実験を通して主体的に問題解決に取り組むことができるようにする。

○　各学校で統一した教育内容

・小学校２校において、同じ教材や方法で指導することにより、地域全体の学力向上に向けた取組を推進する。
・小学校と中学校の教育課程を交流することにより、教育内容や指導方法の一貫性が保たれ、児童の学習の継続性を担保する。

■　学校モデルの構築に向けた取組の具体

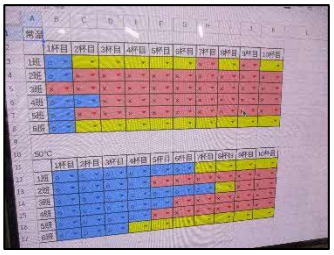
〔管理職の取組〕

・専科教員が理科を担当することに加え、学年内で専科指導を行い、一人一人の教員が自身の専門分野に専念し、専門性や指導力が発揮されるように配慮した。
・専科教員と学級担任、学年ブロック内で授業内容について共有したり、児童理解を深めたりする場を設定した。また、放課後の時間を確保するため、日課表や会議の設定について工夫した。
・校内研究において、「児童が主体的に学ぶための指導方法」をテーマに授業実践を交流するとともに、先進校の事例を共有するなど、現在求められている授業観について、全教員で理解を深めた。

【ICT 機器を固定した教室】

〔専科教員の取組〕

・理科の各単元において、児童が主体的に学ぶことができるよう、実験方法及び実験結果をタブレット端末で整理するとともに、学級全体で共有しながら考察した。
・理科の各単元において、実験器具の扱い方や実験方法について丁寧に指導するとともに、観察・実験の結果をグループや学級全体で考察する習慣を身に付けるようにした。
・第６学年の理科において、学級担任以外の教員が授業を担当することにより、中学校進学時の教科担任制にスムーズに移行できるよう工夫した。


【実験結果の共有】

■　各指定校への学校モデルの普及方策

・地域協議会において、授業実践や効果的であった取組事例を共有するとともに、指定校において実践した取組について交流した。
・中核校及び指定校の効果的な事例について、適宜、共有しながら授業改善を図るようにした。
・「学校力向上に関する総合実践事業」のアドバイザーを公開研究会に招聘し、児童が主体的に学ぶことの意義や先進校の実践例について理解を深めた。
・市内の校長会議において、本事業を活用した学校モデルについて交流した。